

様式3

群馬大学生体調節研究所内分泌・代謝学共同研究拠点共同研究報告書

平成 29 年 3 月 22 日

群馬大学生体調節研究所長 殿

所属機関名 公益財団法人 先端医療振興財団
先端医療センター研究所
職 名 上席研究員
研究代表者 稲田明理

下記のとおり平成28年度の共同研究成果を報告します。

記

(課題番号:16024)

1. 共同研究課題名	膵島形態の維持機構の解明		
2. 共同研究目的	本共同研究では、糖尿病および老化マウスを用いてインスリンやグルカゴン、小腸から分泌される消化管ホルモンを産生する膵島細胞、小腸細胞において、形態と機能を維持する仕組みを解明することを目的とする。		
3. 共同研究期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日		
4. 共同研究組織			
氏 名	所属部局等	職名等	役割分担
(研究代表者) 稲田明理	医薬品研究開発部	上席研究員	代表
(分担研究者)			
5. 群馬大学生体調節研究所 の共同研究担当教員	分野名	代謝シグナル解析分野	氏 名 北村忠弘

※ 次の6, 7, 8の項目は、枠幅を自由に変更できます。但し、6, 7, 8の項目全体では1頁に収めて下さい。

6. 共同研究計画

申請者らが作製した糖尿病マウスを用いて、膵島を形態学的及び遺伝子の発現変化の面から検討する。また、老化マウスを用いて膵島細胞、小腸細胞において機能を維持する仕組みを検討する。

7. 共同研究の成果

電子顕微鏡を用いて細胞接着、基底膜の様子を検討したところ、形態学的に血糖の変化による大きな差異は認められなかった。一方、老化マウスを用いた検討では、グルカゴン産生が増加しているものの、経年的に低血糖を発症していることが明らかとなり、血糖値を下げるホルモンの産生が増加していることを示唆する結果が得られたので、来年度はそのメカニズムを検討する予定である。

8. 共同研究成果の学会発表・研究論文発表状況

(本研究所の担当教員の氏名の記載, 又はこの共同研究に基づくとの記載のある論文等を記載して下さい。なお, 論文の場合は, 別刷りを1部提出してください。)